

共同利用・共同研究システム形成事業 「学際領域展開ハブ」形成プログラム」について

趣旨

- 我が国全体の大学研究力を底上げするには、大規模な研究大学の支援にとどまらず、全国の国公私立大学等に広く点在するポテンシャルを引き出す必要。他方で、各大学単位の成長や競争が重視される中、大学の枠にとどまらない研究組織の連携が進みにくい状況がある。
- 我が国では、個々の大学の枠を越えて大型・最先端の研究設備や大量・希少な学術資料・データ等を全国の研究者が共同利用・共同研究する仕組みが整備され、学術研究の発展に大きく貢献してきている。
- 各研究分野単位で形成された共同利用・共同研究体制について、分野の枠を超えた連携による、新しい学際研究領域のネットワーク形成・開拓を促進することで、我が国における研究の厚みを大きくするとともに、全国的な次世代の人材育成にも貢献する。

事業概要

これまでの役割

大学共同利用機関、共同利用・共同研究拠点
個別の研究分野における中核（ハブ）



新しい機能

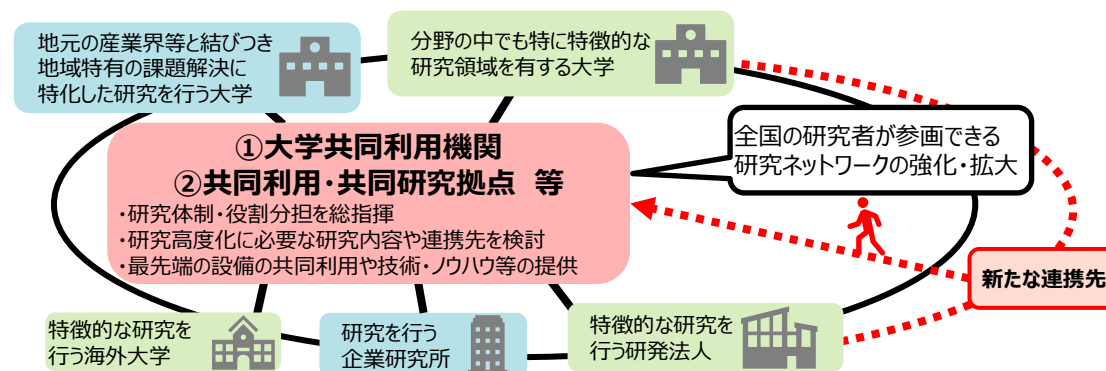
異分野の研究機関と連携し、より多くの研究者に機会を提供する
分野を超えたネットワークを形成



1 学際領域展開ハブ形成プログラム：500百万円

全国の研究者が集まる共同利用・共同研究機能を持つ大学共同利用機関や国公私立大学の共同利用・共同研究拠点等がハブとなって行う、異分野の研究を行う大学の研究所や研究機関と連携した学際共同研究、組織・分野を超えた研究ネットワークの構築・強化・拡大を推進する。

- * 学際的な共同研究費、共同研究マネジメント経費等を支援（人材育成や国際展開の観点を奨励）
- * 支援額については、1拠点あたり5千万円を基準に、プログラム予算の範囲内で、取組の内容・特性等を踏まえて決定。
- * ステージゲートを設定し、最長10年支援
- * 令和6年度は2件の新規採択を予定。



2 特色ある共同利用・共同研究拠点支援プログラム：250百万円

文部科学大臣の認定を受けた公私立大学の共同利用・共同研究拠点を対象に、拠点機能の更なる強化を図る取組等への支援を行う。

- * 運営委員会経費や共同研究者の旅費等を支援

(担当：研究振興局大学研究基盤整備課)

「学際領域展開ハブ形成プログラム」 R5 事業概要

1. 事業概要 ※公募内容

■ 公募対象とする機関

申請機関：本プログラムにおいて中核となる機関。国公立大学の共同利用・共同研究拠点、大学共同利用機関等

参画機関：申請機関が、本プログラムを通じて、従来と異なる研究機関・研究者コミュニティと連携するための「新たなシステム」（ハブ）を形成する上で連携する機関

■ 事業内容

大学共同利用機関や国公立大学の共同利用・共同研究拠点等が、従来と異なる研究機関・研究者コミュニティと連携するための「新たなシステム」（ハブ）の形成等に関する計画と、当該計画に基づく新分野への展開、次世代の人材育成、新たな産業連携の創出等に関する構想の実現を推進。

■ 採択予定件数及び経費（R5予算額 400百万円【新設】）

・採択予定件数：4～8件程度

・経費：1件あたり5千万円を基準に、申請内容や分野の特性等を踏まえた事業規模を申請可能

※申請可能な費目：人件費、事業推進費、設備備品費

■ 支援期間及び評価

本プログラムによる支援期間は最長10年間、5年目終了時を目途に中間評価を実施。

2. 公募・採択スケジュール

5月12日～6月30日	公募	【申請件数：48件】
7月～8月	審査	
9月14日	審査結果の公表	【採択件数：8件】
9月下旬～10月	事業開始（予定）	

令和5年度 共同利用・共同研究システム形成事業 「学際領域展開ハブ形成プログラム」採択機関一覧

No	申請機関	参画機関	事業名	事業概要
1	東北大学 金属材料研究所	①国立大学法人東北大学学術資源研究公開センター ②国立大学法人岩手大学 ③国立大学法人島根大学 ④公立大学法人大阪公立大学 ⑤国立大学法人岡山大学文明動態学研究所 ⑥公立大学法人福井県立大学恐竜学研究所 ⑦福井県年縞博物館	人文科学と材料科学が紡ぐ新知創造学際領域の形成	人類の文化と地球の歴史に関わる人文科学研究（自然史科学を含む）に材料科学分野が有する先端分析・解析手法を適用することにより、真に融合した学際領域を形成し、新たな材料・物質観を共有した新しい学術知の創造（新知創造）を目指す。
2	筑波大学 計算科学研究センター	①量子科学技術研究開発機構関西量子科学研究所 ②北海道大学化学反応創成研究拠点 ③一般社団法人電気化学界面シミュレーションコンソーシアム ④トヨタ自動車株式会社 ⑤株式会社ウェザーニューズナウキャストセンター ⑥日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究センター ⑦アヘッド・バイオコンピューティング株式会社 ⑧国立研究開発法人理化学研究所計算科学研究センター ⑨エスビディア合同会社エンタープライズ事業本部	AI 時代における計算科学の社会実装を実現する学際ハブ拠点形成	材料・生命科学・気象などの分野を中心に、企業・国研・大学間のスーパーコンピュータを用いた連携研究を促進し、我が国におけるシミュレーション科学・工学の実用範囲を広げ、特に企業における計算科学DXを大きく推進する、計算科学の社会実装を目指す。
3	東京大学 物性研究所	①名古屋大学・トランスフォーマティブ生命分子研究所（ITbM） ②名古屋工業大学・オプトバイオテクノロジー研究センター（OBTRC） ③自然科学研究機構・生命創成探究センター（ExCELLS）	マルチスケール量子 - 古典生命インターフェイス研究コンソーシアム	本事業では物理・化学・生物の視点から、光受容タンパク質や蛍光・発光タンパク質などの多様なタンパク質と光が関わるミクロな量子過程と、マクロスケールの分子機能発現プロセスをつなぐことにより、新たな学際領域の創成を目指す。
4	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	①公益財団法人 東京都医学総合研究所 ②国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター	多階層ストレス疾患の克服	基礎医学・生命科学と精神医学・心理学を融合させるための新たな連携体制の構築を通じて、遺伝子・細胞から精神・ヒト社会までの多階層にわたるストレス疾患の病因・病態形成機構解明と診断・予防・治療法の開発を推進し、ストレス社会における人類の健康増進に資する新しい医療や提言に向けた基盤構築を目指す。
5	金沢大学 がん進展制御研究所	①東北大学加齢医学研究所 ②大阪大学微生物病研究所 ③慶應義塾大学先端生命科学研究所	健康寿命の延伸に向けた集合知プラットフォームの形成	「がん」「老化」「炎症」「代謝」研究に卓越した実績を有する研究所が集結し、研究者間の共同研究にとどまらない組織レベルの機動的な連携・協働を拡充することによって、学際研究領域「健康寿命科学」コンソーシアムの形成を目指す。
6	大阪大学 核物理研究センター	①国立大学法人大阪大学放射線科学基盤機構 ②国立研究開発法人理化学研究所仁科加速器科学研究センター ③国立大学法人東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター ④国立大学法人東北大学電子光理学研究センター ⑤量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所 ⑥量子科学技術研究開発機構高崎量子応用研究所	RIコラボラティブ学際領域展開プラットフォーム	基礎開発・研究用RIの安定供給とその安全な取り扱いのための技術的な支援を行うことにより、物理、化学、生物学の基礎研究から、工学、農学、薬学、医学分野の応用研究に至る幅広い研究分野の多様な研究者のニーズを明らかにし、研究用RIを用いた先進的な研究や学際的な研究が格段に発展するための研究支援システムを形成する。
7	九州大学 生体防御医学研究所	①九州大学汎オミクス計測・計算科学センター ②熊本大学発生医学研究所 ③京都大学医生物学研究所	4D システム発生・再生学イニシアティブ	発生・再生学の中心的命題であり、医療応用に向けた期待も大きい器官形成機構の理解に向け、時間・空間情報を保持したオミクスデータを網羅的且つ高深度で取得・解析できる新規技術を開発すると共に、数理的手法を用いて器官形成を制御する分子ネットワークの全貌を解明し、新しい発生・再生学研究の潮流を創出する。
8	自然科学研究機構 生理学研究所	①京都大学化学研究所 ②大阪大学蛋白質研究所 ③量子科学技術研究開発機構 ④新潟大学脳研究所	分子・生命・生理科学が融合した次世代新分野創成のためのスピン生命フロンティアハブの創設	多様な磁気共鳴（MR）装置と多彩な専門性を持った研究者を集約し、既存の分野に捉われない新分野「スピン生命科学」の創成を目指し、大学や企業、各装置プラットフォーム・分野コミュニティとの連携による共同利用・共同研究及び分野横断的な研究者・技術職員の育成を推進する。